

# ふっさ

◇ 昭和54年1月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



## 頌春

チビツ子剣士の元気な気合が館内いっばいにひびきわたる。  
将来オリンピックの正式種目として、世界のひのき舞台へ。  
子供たちの夢は大きい。

— 福生市剣道連盟の寒稽古から —

# 新春を迎えて



議長 岩田 博



副議長 小堀 仁七

市民のみなさん、新年あけましておめでとう  
ございます。

希望にあふれた、新春を迎えるにあたり、みな  
さまがたの御健康と御繁栄を心からお祈り申し上  
げます。

私たち議員は、みなさまがたの御支援により、  
市行政にたずさわって早くも四年になります。お  
かげをもちまして大過なく、ここまでこられたの  
はみなさまがたの御協力があったればこそと心か  
ら深く感謝申し上げます。

昭和四十五年市制が施行され、市としてのふさ  
わしい街づくりのため、市執行機関はもとより、  
当市議会においても、市民生活の環境整備・福祉  
増進を目的として歩んでまいりました。昨年 は 厳  
しい財政の中で、市民のみなさんの健康を守る健  
康センターが完成し、公共下水道事業も、みなさ  
んの絶大な御協力を得まして約一四％の使用開始

をみるにいたりしました。さらに本年は、大きな事  
業として市民待望の仮称中央図書館の建設がござ  
います。又、福生駅西口再開発などの幾多の重要  
問題が山積みされております。しかしながら、こ  
れらの解決を図ることが私たちに課せられた責務  
であり、関係機関と相まって最大の効果が上がる  
よう努力する覚悟であります。

本年は、まさに、執行機関はもちろんのこと、  
私も議決機関の議員としても正念場であり、そ  
の責任の重大さを感じざるを得ません。私たちの  
任期も余すところ三ヶ月余りとなりました。この  
残された期間、誠心誠意懸命の努力を傾注して市  
政の諸問題を慎重に審議し、市民のみなさんの御  
期待にそうよう努力する決意であります。

どうか、市政に対するみなさんのよりいっそう  
の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。  
新年のごあいさついたします。

## 議 員

- |      |       |        |        |        |        |        |         |         |         |         |           |         |         |         |       |         |         |         |       |         |         |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|
| 原 敏子 | 原 山 清 | 松 田 生也 | 原 田 武男 | 村 野 治男 | 森 田 栄次 | 村 尾 栄次 | 鈴 木 藤次郎 | 山 崎 良之助 | 竹 田 政 勝 | 指 田 保 雄 | 宇 佐 美 良 時 | 貫 井 喜代次 | 田 村 市 郎 | 小 林 菊 三 | 関 米 吉 | 東 田 正 治 | 大 野 行 夫 | 宮 沢 良 一 | 高 波 忠 | 末 次 性 男 | 塩 野 鉄之助 |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|

## 議 会 日 誌

10月

- 3日 建設委員会行政視察 (5日まで)
- 4日 熊本県山鹿市議会来市
- 11日 厚生委員会行政視察 (13日まで)
- 12日 東村山市議会来市
- 16日 大分県宇佐市議会来市 総務委員会
- 17日 全国基地協議会役員会
- 18日 埼玉県和光市議会来市 全国議長会社会文教委員会
- 19日 青梅・羽村・福生地区 都市下水道組合議会 議会だより編集会
- 24日 東京都市収益事業組合 議会
- 25日 建設委員会
- 26日 横田基地対策特別委員 会行政視察(28日まで)
- 30日 第五回臨時会、全員協 議会、厚生委員会、 三多摩上下水(第二委 員会)、西多摩農業共 済事務組合議会

# 約 2 億 5000 万円 追 加 補 正

## 《一般会計第4号》

今回可決された補正額は、約 2 億 5,300 万円で、53年度の予算総額は、歳入歳出それぞれ約 82 億 290 万円となりました。

歳入では国有提供施設等所在市町村助成交付金等が約 1 億 2,320 万円の増となっています。又市税も 3,340 万円の増収、国庫支出金と都支出金で約 8,890 万円を計上しています。

歳出で最も大きな補正がされているのが民生費の約 7,140 万円で、そのあと土木費約 6,900 万円、教育費が約 6,750 万円と続いています。民生費では児童措置費として約 1,910 万円が計上され、土木費では仮称不動尊児童遊園の新設工事費として 650 万円が計上され、教育費では校舎に転落防止柵をとりつける費用として約 1,350 万円、学校給食センターの建設費として約 3,270 万円を計上しています。

### 主 な 建 設 事 業

- ・仮称第 2 学校給食センター建設事業
- ・仮称熊川中央学習等供用施設建設事業
- ・仮称不動尊児童遊園新設工事
- ・転落防止柵設置工事
- ・汚水排水施設新設工事
- ・市道改良工事
- ・緊急道路整備事業
- ・公営ポスター掲示場設置工事
- ・仮称福生市役所前横断歩道橋建設事業
- ・浄化槽取壊し工事

昭和五十三年も残り少なくなった十二月二十二日（金）の本会議最終日において、一般会計補正（第四号）は、原案のとおり可決されました。今回の補正では、民生費や教育費、又土木費関係のものが大きなウエートを占めています。

あわただしい年の瀬を迎え今年最後の第四回定例会は、十二月七日から二十二日までの十六日間にわたり開かれました。この定例会では、昭和五十二年年度の一般会計決算や職員定数条例など十七議案が決まりました。

第一日目の七日には、申し出のあった九人の議員によって、福生駅西口再開発や市の財政・教育・災害・商工業などについて一般質問が行われました。

第二日目も前日に引き続き残りの一般質問を行った後、二議案を可決、十四議案を所管の委員会に付託、五十二年度一般会計決算については、特別委員会をつくり審査することとし、二日目を

## 第 4 回 定 例 会

審 議 日 程	
12月	
7日	本会議
8日	本会議
11日	一般会計決算審査特別委員会
13日	厚生委員会
14日	建設委員会
15日	総務委員会
19日	議会運営委員会
22日	本会議

この外、一般会計補正予算や下水道事業の事務の委託など十議案も原案のとおり、それぞれ可決、又は同意されましたが、一議案は、三たび継続審議と決まりました。

各委員会に付託された議案や継続審査となっていた議案は、十一日から十五日までにそれぞれ審査され、その結果が本会議第三日目に各委員長から報告されました。そして、本会議で審議がなされ、五十二年年度一般会計決算は、討論の後、起立採決の結果、賛成多数で認定され、その他の四つの特別会計決算も原案どおり認定されました。

11月	12月
6日	1日
建設委員会協議会	議会運営委員会
7日	2日
全国基地協議会役員会	西多摩衛生組合議会
9日	4日
東京都議長会定例会	福生伝染病院組合議会
15日	5日
三多摩上下水（第二委員会）	全国議長会社会文教委員会、沖縄県金武村議会来市
21日	7日
厚生委員会	第四回定例会（第一日目）、全員協議会
30日	8日
全国基地協議会役員会及び総会	第四回定例会（第二日目）
	11日
	昭和五十二年度福生市一般会計決算審査特別委員会
	13日
	厚生委員会
	14日
	建設委員会
	15日
	総務委員会
	19日
	議会運営委員会
	22日
	全国基地協議会陳情第四回定例会（第三日目）、全員協議会
	28日
	厚生委員会協議会御用納め

単年度収支では赤字

# 一般会計約68億円を認定

—— 昭和52年度決算審査特別委員会 ——

昭和五十二年度は、不況感が一層強まり、個人の暮らしにも厳しい年でした。そのような経済状況の中で、市が税金をどう使ったかを審査するため、「昭和五十二年度福生市一般会計決算審査特別委員会」を議員二十名でつくり、小林菊三委員長、竹田政勝副委員長の

もと、十一日、長時間質疑を行いました。そして、本会議最終日に討論を行い、起立採決の結果賛成多数で、昭和五十二年一般会計決算は認定されました。

## 特別委員会 のやりとりから

### ▲歳入▼

収入未済件数の減

税の公平徴収全力投球

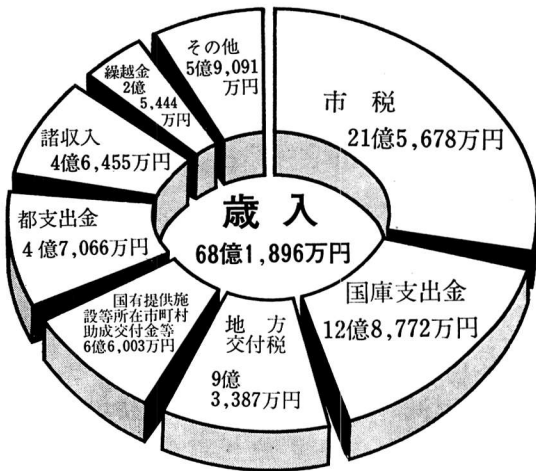
問 市民税の収入未済件数が五十一年度の六千件に比らべ一千五百八十五件と減っているが収入金額がさしてふえていない。これは小口を主に取り立てたためか。

企画財政部長 税の公平徴収の面から、基準に従い全力を挙げて徴収に努力した結果である。小口を主に取り立てたものではない。

問 市営住宅使用料が五十一年度にくらべ、一〇%の減となっているが理由を聞きたい。

総務部長 建て替え計画を進

## 歳入歳出款別決算表



めており、空家がふえたためである。なお空家への新規入居の考えはない。

問 決算総額の中で横田基地があるために獲得できた額を伺いたい。

### ▲歳出▼

中小企業振興資金

貸付約六千二百万円

企画財政課長 総額約十六億五千万円で二四・三%である。基地交付金八億九千万円それに建設・教育関連補助金約七億六千万円である。

問 入札参加の機会には多くの業者と与えるべきである。入札参加業者の数と入札の機会が多い業者数は。

## トウロ 討論 トウロ



地方財政危機の中で財源をどうするかが重要な問題である。

年度当初の消極予算  
納めた税金生かさぬ

市長は現在の税制度が現状に合わないことを認めながら、地方交付税率のわくの拡大問題にしても運動をあきらめていないが、これでは交付税の根本的立て直しはできない。

又、当初消極予算で出発し、以後数回の補正が行われている。しかし財源計上についてはあとへあとと持つてこられ、特に三月の最終補正では市税一億円以上が組まれており、せっかく市民が納めた税金が十分生かされない結果となっている。

それに福祉面から見ても、民生費が当初予算中二一・八%を占めていたが、決算ではこれが二〇・三%と下がっており、きめ細かい施策が十分実施されていない。さらに五十年度以後各種使用料、手数料の値上げが行われてきたが、五十二年においても市営プールの使用料の大幅値上げが行われ、市民の負担増となっていること等から本決算に反対する。



### <昭和52年度決算>

## 自主財源に伸び

一監査意見より一

決算総額は歳入で約68億 1,896万円、歳出では約65億 6,569万円で51年度と比べると歳入歳出がともにそれぞれ減少している。単年度収支は約802万円の赤字だが、第八小学校建設のための基金などとして約1億 6,882万円が積立てられており収支の状況は良好である。

**<歳入>** 歳入決算額を51年度と比べると総額で約18億 384万円 (20.9%) の減少である。これは、国庫支 出金が約17億 1,108万円、市債が約10億 8,390万円と大幅に減少したためである。増加したものは、市税の約3億 160万円、地方交付税約 8,499万円などがあげられる。

自主財源が全体の45.3%、依存財源が54.7%で自主財源は、前年度に比べ約6億 5,490万円増え依存財源は、約24億 5,875万円減少している。自主財源は26.9%の伸び率を示し、順調に健全財政に向っていると思われる。

**<歳出>** 歳出決算額を51年度と比べると約18億 267万円 (21.54%)

の減少となっている。減少した主なものは、土木費の約11億5,873万円、教育費の約14億6,180万円などがある。増加率の高いものとしては、商工費198.15%があげられるが、決算額では、民生費が約2億7,221万円、衛生費が約1億3,556万円、商工費が約1億679万円づつ増加している。

予算執行状況は、総体で95.65%で、51年度に比べ1.42%の減少となっているが、執行率は良好で、公共性及び経済性を考慮し、おおむね所期の目的が達成されているものと見受けられる。

**<要望>** 財政事情は自主財源が全体の45.3%で、このような状態のもと著しい社会情勢の変貌による行政事務事業の複雑化と相まって、市民からの行政に対する要望にこたえていくためには、限られた財源をさらに効率的に運用し、なお一層の創意工夫と努力をされるよう要望する。

総務部長 私どもは多くの業者が参加するよう努力している。入札参加業者は百三十三社で落札は二十五社ぐらい、うち多いのは年間で十三件である。

問 中小企業振興資金の預託金と融資状況を聞きたい。

経済課長 市中金融機関十店へ二千三百万円預託している。貸付は運転資金、設備資金を合わせて四十四件の六千八百八十五万円となっている。

問 地域美化活動費において、当初くずかごを購入するということがあったが、全然支出されていないのはなぜか。

衛生課長 モデル地区を指定し、会館にかごを置くように計上したが、会館におかなくても

町会単位で、直接業者に搬入してもらおうようになったためなくなった。

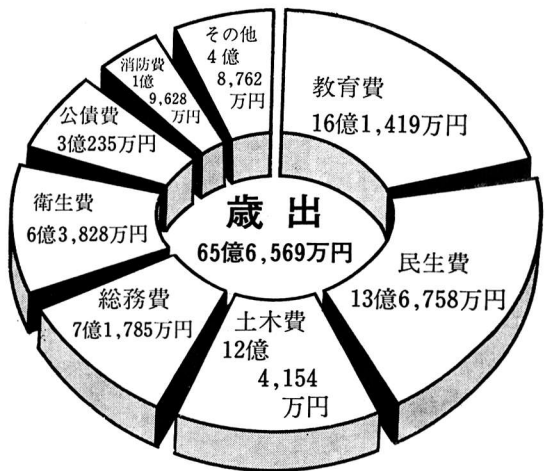
問 教育指導費で不用額が多いのは、予算の見方が甘かったのか。

学務課長 教育相談員が病気のためとか、講師の派遣等が原因となっている。

問 課外クラブ報償金の内訳と社会教育関係団体への補助金の考え方について聞きたい。

教育次長 教員が授業のほかに指導していただいた報償金で、土曜日が六百元、日曜日が一千二百円である。又補助金は、婦人会、ボーイスカウト、PTA連合会、体育協会等に出している。今後増額の検討したい。

## 昭和52年度一般会計



### トウロ ン 討 論 トウロ ン



**賛成**  
低経済成長時代とはいえ、行政需要は止まるところなく市民サービスに徹しなければならぬ。そのため市長を先頭に議会、職員が一体となり、国・都支出金の獲得に奔走し、特に防衛関連予算の獲得額は、歳入総額の二四・三%にあたる十六億五千余万円の巨額であり、市民の生活環境の整備を着実に実行に移したことは高く評価される。

厳しい財政状況の中  
市民福祉に徹した

五十二年度決算状況は、単年度収支では八百二十余万円の赤字であるが、実質的には一億六千八百余万円の基金が含まれており、実質単年度収支は一億六千余万円の黒字と解釈できる。又経常収支比率が八〇%台にあり、財政構造に弾力性があると認められる。

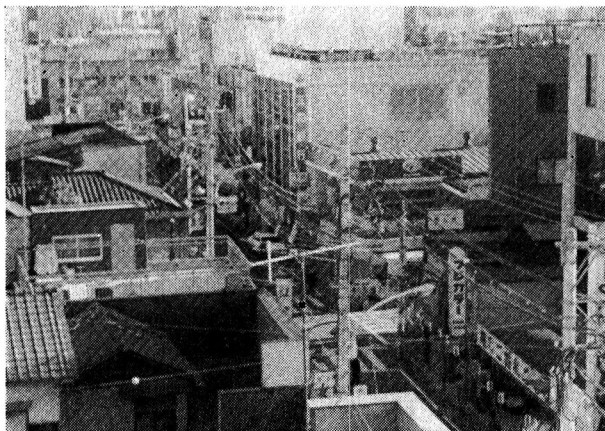
福生市政も、市長の施政方針どおり福祉社会建設をめざして邁進し、理想郷の明かりが見えつつあると思われる。

本決算は総括的に見て、厳しい財政状況の中にもかかわらず市民福祉に徹したものと認め、本決算に賛成する。



# 一般質問

第4回定例会では  
9人の議員が一般  
質問を行いました



近付西口 待たれる開発再開

## 西口再開発を最重要

### 協議会に職員派遣も

質問 市長の策定した市総合

計画によると、低経済成長路線による社会情勢の変貌のなかで福生市が真に住むにふさわしい都市形成・福祉向上を図るために科学的な行政運営の必要性を述べ、三カ年毎に実施計画を策定、市政を推進し、本計画の実現を目指し積極的に街づくりを進めると決意を明らかにした。

そして基本的指針として、健康で幸せな市民生活を守る街、豊かな人間性と文化を育てる街、魅力にあふれる住みよい街、この三本の柱の基に基本計画が策定された。そこで次の三点について質問する。

①本計画の発

表以来一年を過ぎた現在、実施計画はどうなっているか。

②まだ残された未区画整理地区が、熊川地区をはじめ幾つかあるが、これらの市街地構成、環境整備、商店街構想等どのように進めていくのか。

③福生駅西口再開発であるが、私は過去四回にわたりこの問題に対し質問している。十一月二十一日付陳情書に対する市長の回答によると、地域内当事者の再開発への意欲はきわめて旺盛、本事業推進のため協議会も発足され、今後は協議会を中心に大いに調査、研究を進めていくと市長の意欲の程がわかる。そこで本事業に対する今後の方針、協議会に対する調査費の補助や市職員を派遣する考えがあるか。

市長 ①実施計画については、基本計画に基づき優先順位をチェック、財源確保の見直し等を考慮しながら現在鋭意策定中であるが、本市の財政構造は

国や都への依存財源に頼らざるを得ない状況である。これがために策定が大変遅れ申し訳ない。来年二月には公表できる見通しである。

②区画整理の施行地区は、基地を除く面積の約四〇％が整理された。しかしながら未整理の地区がまだ約四百ヘクタールある。福生駅西口再開発の大事業もあり、これらを勘案しながら未整理地区の整備等鋭意努力していく。

③市の方針としては、地域内の方々の決心がなされた以上西口開発事業を最重要点として取り組み、協議会においても調査、研究を重ね、開発の方法等都与に連絡し進めていきたい。助成金であるが、開発の方法によって段階的に増やすようにしたい。市の職員は協議会において必要とあらば派遣する。

市民部長 ②これからの福生市は、商業都市として意欲的な進め方をし、市全地域に点在

している商店街、とくに熊川地区等、商業の象徴として一面に築き上げ、店舗とか規模の質の向上を図り、恒久的な物品の販売を主とした商業を考えていかなければならない。

### 在来商店の育成は

#### 積極指導と環境整備

**質問** 当市は商業的住宅都市として長年西多摩の表玄関として発展してきたが、最近の大型店舗の進出により、在来の商店の運営は大きな影響を受けている。又、商業購買圏であった青梅東部地区及び、羽村町に集中的に大型店舗の進出が計画され、これが実現した場合には、市内の商業環境に一大変革をもたらすことは確実である。いま行政サイドで優先的に推進しようとする商業振興対策はいかなるものか。

**市長** 近隣の発展は目覚ましいものがあり気をもんでおり、市が商店に対してすることは、積極的に育成指導に取りくむということと環境整備と二つがある。福生駅の東口開発、又西口においても大いに意欲をもっている。国道十六号の拡幅もろつばな道路をつくるよう運動中である。局部的であるがこれを

呼び水として全体を潤し、商工会に十分な補助金を出し、直接の指導は商工会にしていたくというのが初めからの建前である。

**市民部長** 熊川地区も購買力が増えてきているので商店を散在させているよりも、商店街形態をなすような考え方に立った

### 市民の期待にこたえ

#### 来年度は積極予算

**質問** 市内各所で五十三年度工事も、急ピッチですすめられている。これらに伴う市民の苦情、反面期待も大きい、そこで次の項目について聞きたい。

①十一月末現在の未完成工事契約件数は何件か。安全対策はどのように指導しているか。指名業者選定基準は、一工事に対して何社指名しているか。市の登録業者件数は。

②市道の未舗装路線は何本か。又私道の路線は何本か。これらの舗装の見直し。

③五十四年度の主たる事業計画を具体的に、又これらの事業に対する起債はどのくらい見込むのか。

研究をしていくべきではないかと思う。とりあえず、商工会とともに、経営意識の向上、近代的经营の感覚、商店街のあり方について指導し、援助していきたい。



④基地内米軍家族の公共下水道の使用料は、まだ協定が結ばれていないようだが、今年度の歳入に欠陥が生じないか。又五十四年度への影響及び協定の折衝をどうしていくのか。

⑤市の最大の行事の一つに七夕まつりがある。五十四年度の基本的な考え。土曜日、日曜日の時間延長はできないか。

⑥東口区画整理事業の整備が当初より遅れているが、都の赤字財政の影響があるのか。又五十四年度は十分な補助をもらえるのか。

**市長** 工事契約等は嚴重にし、安全対策も万全の注意をはらって工事を進める。市道の整備は現在の舗装率九一・二%で今後一〇〇%を目指し積極的に取り組む。五十四年度の予算編成であるが、諸般の状況からして今まで消極的な予算であったが、市民の期待にそえるよう、積極的な予算でいきたい。

**総務部長** ①現在の未完成工事契約数は下水道課で十九件、土木課四件、都市計画課六件、水道事務所四件、教育委員会九件、その他二件、合計四十四件である。安全対策は担当部ともども事故等を起こさないよう最

善の注意を払い監督していく。業者指名基準は、五十万円以上三百万円未満四社以上。三百万円以上一千万円未満五社以上。一千万円以上三千万円未満六社以上。三千万円以上は八社以上と定めている。登録業者は二千五百七十二件である。

**建設部長** ②市道未舗装路線は二百二十一路線、私道路線は四百七路線、舗装工事については積極的に進めていく。

④市の再三の交渉でも協定が結ばれず申訳ない、全力を挙げて早く解決したい。五十四年度の収入は年間一億数千万円になるかと思われる。

⑤都の補助金は東口区画整理事業のような継続事業では全額補助される。

**企画財政部長** ③主な事業は、継続事業で仮称中央図書館、仮称熊川中央学舎、市道の幹線・二号線(福生病院)加美平団地、熊牛緑地の用地買収、市営住宅の建て替え(一部)、これらが主な事業である、起債は約五億二千万円である。

### 第4回 定例会を傍聴された方々

(敬称略)

- 作夫康雄 三武三子 昭郎 男助 雄郎子
- 伊昭長 勝宗 卓弘 喜利三 繁良 広保 士のり
- 倉藤島 井里田 島野原 下崎 下田 島上山
- 一斎 竹大 下林 原中 栗木 山柳 吉中 野米
- 一忠 幸男 雄啓 夫己 一喜 喜豊 司 男人 助男
- 俊芳 雅俊 静 末昌 正正 英 成三 直之 謙和
- 和川 橋池 島上 野村 島藤 田藤 田上 村藤 田
- 坂市 高吉 川井 中田 竹新 島近 町井 田加 内

### 思い出の修学旅行

#### 公費負担を検討

**質問** 市長は常に教育の重要性を訴えている。私も同感である。特に義務教育においては、一番大切な時期である。小中学生が修学旅行あるいは林間・臨海学校等で学ぶ体験は、教育効果はもろろん、重要な意義をもつ、そこでこれらの費用を市で負担する考えがあるか。次に市民憲章のことであるが、市民が共通の目的をもって、地域発展のために行動するバックボーンとしての合言葉が市民憲章であろう。つくる意志があるのか、市の歌と合せて聞きたい。又欧米都市と姉妹都市を結び、市の鍵等を贈り合い大いに互いの国の環境、風俗、歴史等を勉強し、文化の向上に役立たせる考えがあるのか聞きたい。

**市長** 市民憲章は、市制十周年に記念事業としてつくりたい。市の歌は多くの市に有り、できれば五十四年度に予算計上してつくりたい。

市の鍵は外国との交流に使うよう、私も市制十周年を目的として姉妹都市を求めているが適当な都市がない。したがって姉妹都市がある程度目算がつい

たときに考えたい。

**教育長** 修学旅行等は教育活動の一環であり、一生思い出の残る意義ある学習活動である。受益者負担が原則であるが、保護者の負担軽減を考え、財政当局と十分協議し、積極的に研究を進めていく。

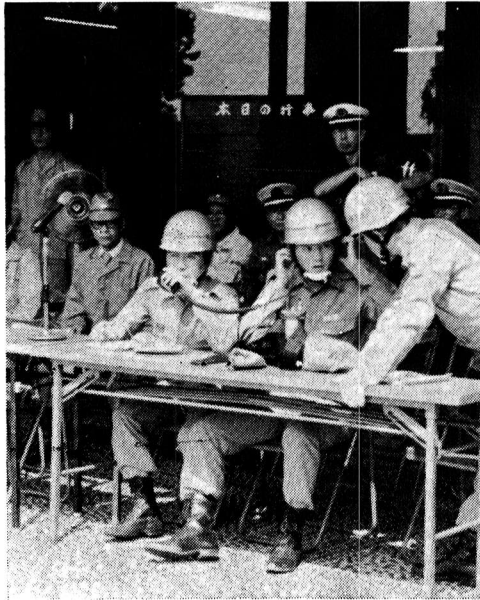
#### 防災避難訓練自発的に

#### 不断の心がけが大切

**質問** 最近特に問題視され始めたのが、関東大震災級の地震説で、六十年を周期とする学説もある。もしあのような大地震が起これば、市内の半分は被災すると思われる。このような

ときに、予備知識が十分あって自からの計画された行動とビジョンがあるならば、沈着な行動、協調と連帯の輪が必ず広がるであろう。市民の防災に対する意識の高揚を図るのは当然である。そこで、これからの防災訓練等のあり方と市民による火災保険制度について聞きたい。特に広域避難場所の確保、給水備蓄施設の整備、防災組織の育成、訓練、医療体制等はどうなっているのか。

**市長** 避難路とか避難場所は地域の町会などで決められた方が地理には明るいし迅速に行動ができる。現在鍋二町会、加美一町会などは自発的に消防署とか、消防団にも指導を依頼して訓練



市の防災訓練の様相

**質問** 下水道事業で第一期事業区域は一部使用開始がされた。福東町会地区は残堀幹線に流す計画であるが、この地区の使用開始にいたるまでに、立川市、昭島市との関連もあり、現在両市の工事はどのように進捗しているのか。この地区の使用開始は何年頃になるのか。又、第一期事業区域において、使用開始されたが、現在下水の使用

#### 福東地区残堀幹線に

#### 下水道五十六年可能

をしている。むしろ、このように地域のみなさんが関係行政機関に呼びかけて、防災訓練を行うことが、市民一人一人の災害に対する意識の高揚になるのではないかと思う。

火災保険制度であるが、非常に結構なことである。しかしながら加入率が心配で、少ないと運営面で困難をきたすと思う。この制度は広い範囲が必要であり、東京都の市長会とか、近隣の市町村長にも、この問題を提起したいと思う。

**市民部長** 地震のような突発的な災害のときには、火災等も広範囲に起る可能性があり、消

を始めた家庭が一〇%程度と聞いている。今後これを引き上げていく上で、どのような対策を持つておられるのか聞きたい。

**市長** 残堀幹線は近い将来使えるよう見通しがついた。立川市、昭島市に積極的に折衝を進めていく。

**建設部長** 都が施行している流域幹線の残堀幹線については、昭和五十四年度までに完成の見通しである。立川市の行政区域は、五十三年度末で大部分がわかり、残りはずかである。昭島市の区域は一千八百メートルあり、おそくとも五十六





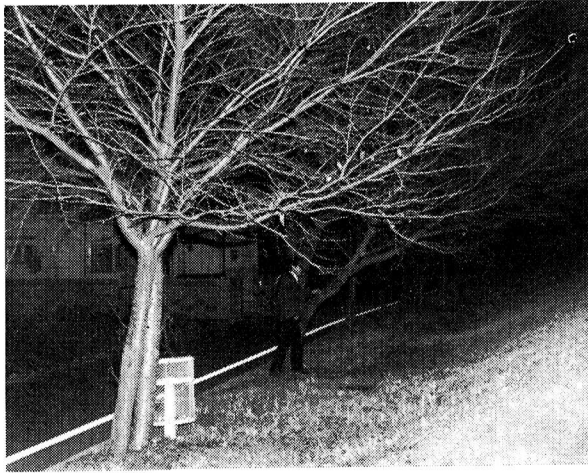
年度には布設できる予定である。今後昭島市と協議していき、昭島市の布設できる五十六年度ぐらいには、福東町会地区も布設工事ができるようにしたい。又普及率であるが、現在までの届け出件数が三百九十三件であり、工事完了件数が二百五十五件である。五十三年度末の届け出予想件数は六百六十件ぐらいと見込んでいる。なお今後も、説明会、広報等で促進、普及に努める。

### 中学校給食賛否両論

#### 今後也十分調査研究

質問 次の三点について聞きたい。

①市債は、五十二年度末の一般会計によると三十一億四千五百二十九万円となっている。これらの平均金利はいくらか。又高い金利の繰上償約一億七千万円の返済は結構であるが、残りの金利について引き下げの相談をしたことがあるのか。



夜の多摩川沿いの堤防

②柳山公園から熊川下の堤防沿いに桜の木が植えられ、市民憩いの場所として大いに親しまれていて夜間も利用者が多い。しかしながら防犯設備がない。これらをどう考えているか。

③中学校の完全給食の実施に関する請願書もすでに採択されている。給食研究会も設置されているが、現況について聞きたい。

企画財政部長 ①五十二年度末における一般会計の市債平均金利は八・二六％である。繰上げ償還分(約一億七千万円)を差し引いた現在額に対応すると、平均利率は七・九三％となる。下水道の五十二年度までの繰上償の関係であるが、借入元金は二億八千六百八十万円で、平均金利が七・四三％である。

収入役 ①金利の引き下げの相談であるが、一銀行だけの問題ではなく、国の金融政策もありなかなかむずかしい。現在交渉を続けており、なお一層の努力をする。

市長 ②堤防沿いの防犯設備であるが、堤防は河川法によって決められており、現在の桜の木も除くよう建設省から要望されておられ、大変むずかしい問題である。しかしこれからも桜の名所として存続し、又防犯灯についても、ぜひ設置できるように強く建設省へ折衝していく。

教育長 ③学校給食法が昭和二十九年に制定され、給食がはじまったが、当時より社会情勢、食生活も大分変わり、特に最近では、新たに給食を取り入れることは、学者間においても賛否両論を唱える時代である。当市でも給食研究会でいろいろと調査、研究を重ねているが、

賛否両論の意見が出ている。今後也十分研究、協議していく。



第1回定例会は  
3月に開かれます  
議会の傍聴をどうぞ

### 下水道債の返還

#### 六十六年には八億円

質問 公共下水道は、都市施設の最低条件の一つであるが、現行の行財政制度では地方団体に大きな借金ができる仕組みになっていて、市内全域に公共下水道が完成する昭和六十年年度には、下水道会計の市債が九十八億円になると予想されるが、その返還にどう対処するつもりなのか。

市長 返還のピークは昭和六十六年頃の見込みで、八億円余りを返済する。しかし、交付税

の措置によりその半分の四億から五億を返済することになると思う。又、六十年年度の市の税収は五十六億円。一般会計で百四十億円ぐらいになるだろうと予想しているので、四億から五億の返済は可能であると考えている。

### 人口増加鈍った原因

#### 安い他の土地へ転出

質問 当市の人口は昭和六十年代には、六万五千人と目標を推定しているが、現実には大きく下回っている。人口増加が鈍ってきていることを市当局はどのように分析されているのか。

市長 人口の推移であるが、計画では五十三年十一月一日現在五万一千二人に対し、実際は四万八千四十三人である。この原因はなかなかつかめないが、地価の問題もあろうかと思う。法律で定めている市の人口は五万人なので早く五万人にしたい。又、私は計画人口は変える必要がないと認識している。

企画財政部長 団地の人口が大きな原因となっている。加美平住宅と熊川住宅では五十一年から五十三年にかけて毎年減少している。福生団地においても



同様である。生活様式も変わり子供が大きくなると部屋数の問題などで団地を出て、一戸建てなり、自分の家を作るなり規模の大きな所へ移る傾向が出ている、又、出生率の低下も一つの原因で、昭和四十五年からの統計で約一％ぐらい落ちている。

### 待たれる汚水排水路

#### 多摩川の浄化に一役

質問 多摩川は全国河川で水



河川敷で遊ぶ子供たち

質においてワーストファイブにはいつているが、水質汚染防止対策として都市下水路をどのように考えているのか。

柳山公園と多摩川は全く分離した形をとっているが、一体となった川遊びができるような自然公園を造るためにも、河川敷の危険な草木を取り除くべきではないか。又、多摩橋下流の河川敷内の廃品回収業者の移転問題はどうか。

市長 汚水排水路の羽村幹線が完成すれば、都市下水路は正常な形になる

のでもう少しお待ち願いたい。

多摩川は急流の部類に入るようで、大水が出た場合、それを完全に河川敷で処理できないればならないので、建設省に整備をお願いしているが、予算も少なく難航している。

#### 建設部長

五十年当時、都市下水を流

域下水道に振り替えて使用する、当時で約一億円ぐらいかかり、又、都市下水路沿線の工場からの有害物質をどうチェックするか問題であり据え置かれていた。ここで羽村幹線が完成し、関係工場が公共下水道に排水を切り替え、都市下水路は相当きれいになると思う。



多摩川の草木の除去は都市に残された貴重な水と緑のオーブ

### 商業都市の建設

#### 駐車場は不可欠

質問 商業都市建設のためには、交通問題を置き去りにしては語れないと思う。増大する自動車、駐車場の横田基地所在市ということ、国庫負担金で地下駐車場を設置できないものか。又、西武線の福生駅乗り入れや、青梅線の増発・複々線化について考えを聞きたい。

市長 商店街や新興都市で大事なのは駐車場だが、外国では待避壕をつくり、普段はそれを駐車場に使っている例があるようだが、現在の日本における防衛とか、自衛隊に対する一般の人の認識から、すぐに実現可能

ンスペースとして検討し、交渉していきたい。河川敷内の廃品回収業者の移転については、住宅や就職の幹線などを検討している。

であるとは推測できない。しかし、待避壕というよりも、駐車場ということで、予算獲得の運動を進めていきたい。西武線については、拜島までの複線化が先だということ、話し合いは難航している。

助役 青梅線・五日市線・八高線改善期成同盟会の運動で、一日に十四本の東京直通電車が走っている。これ以上の増発は、立川駅の改造が前提になり無理である。

### 七町内の地域会館建設は

#### 八小完成後に検討

質問 コミュニティー施設としての地域会館と、市の中心的な施設は連けいし、その地域の

実態に即した市民の自主的な教育活動をしていくことが最も望ましいあり方である。その役割からして、場所の設定や規模が決まってくると思うが、歓楽街が町の真ん中であり、基地に最も近い町会である七町内に建設すべきだと思うがどうか。

### 各種検診のほか

#### 講習会を実施

質問 現在は予防医学の時代といわれているが、市独自の施策の成人病検診は循環器検診しなく不十分である。現在のよるな社会情勢を加味し、難病、老人問題、精神衛生、公害など健康センターの活用をどのように考えているのか。

市民部長 現在実施している胃がん検診、子宮がん検診など成人病検診は保健所を借りていたが今後健康センターでできると思う。又難病、老人問題も保健所から医師の派遣や連けいしと衛生思想などの講習会を開き、予防にも重点を置きたいと考えている。

### 新しい保育園

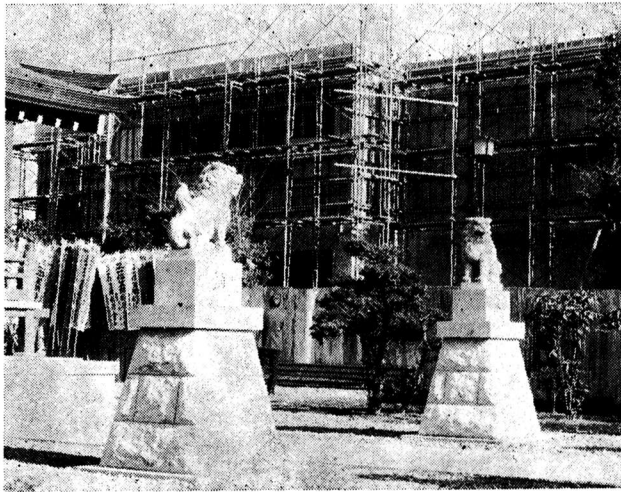
#### 四月には開園見込み

**質問** ①市内には公立・私立合わせて十一の保育園があるが保育園により保育料を除く経費に開きがある。各保育園の現状を把握し、父母負担を軽減する必要がある。入園時の補助金を出す対象を拡げるとともに、遠足等も補助の対象にすべきではないか。

②仮称本町保育園の建設が進んでいるが四月に開園できるのか。又父母の採用はどうなっているのか。

**市長** ①市の持ち出しも相当額になっている。ぜひいま程度の負担はしていただきたい。

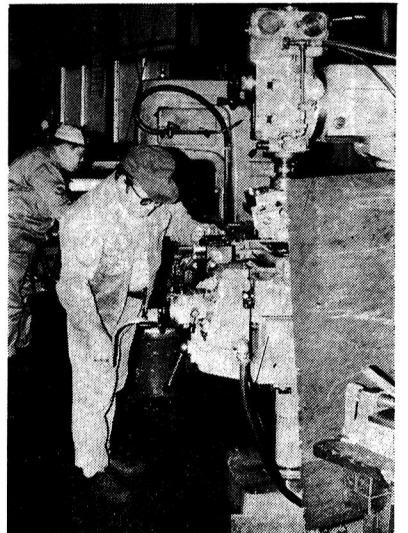
**福祉部長** ①保育方針や保護者会等の関係も保育料以外の負担に関係あるのではないかとと思う。ぜひたくに流れず、実質的なものをと指摘している。五十三年度も生活保護家庭や母子家庭の九十数名分は市で負担して



開園予定の仮称本町保育園

いる。入園時の費用も同様である。真に経済的にお困りの方以外の方は、それぞれの立場でぜひ何とかやっていただきたい。

②四月からの開園は間違いないと考えている。この保育園は社会福祉法人となるので、職員の採用に口は出さない。



中小企業で働く従業員

### 商工貯蓄共済制度

#### 五十四年度から発足

**質問** 商工振興にとって大切なことは、労働力の安定確保のためには、従業員の福利厚生制度を充実し、就業を魅力あるものにしなければならぬ。市内に働く従業員を対象に、勤労者

互助会制度を発足させ好評の市もあるが当市でもこう

した制度を推進する考えがあるか  
**市長** ①予算編成には十分に見込んだ場合と内輪に見込んだ場合の二通りがあり、当市は内輪に内輪と見込んできたが、五十四年度はできるだけ多く組むつもりである。

**市民部長** 現在の商工業事業に対する福利制度としては、特定退職金共済制度と、グループ保険共済制度の二つが商工会によって行われている。五十四年度から、商工会でも、東京都連合会を主体として商工貯蓄共済制度というものを発足しようという段階になっている。それらの加入率の状況において市も補助金を出していきたい。

### 都財政の危機

#### 委託消防費にしわ寄せ

**質問** 都財政の危機から、委託消防費の負担率を現在の二分の一負担方式からすべて関係市町村で負担する方式に変更しようとしているが、その現況と見通しを聞きたい。

**助役** 都も赤字団体転落を防止するため必死であり、形勢は予断を許さないが、都下の消防事務を委託している三十市町村は、二分の一以上は絶対に払わない態度でいる。

### 課税客体と自主的市税

#### 全体の額の把握に留意

**質問** ①収入財源を適確に把握し、多様化する市民要求にこたえることは大切なことであるが、ここ数年の市民税の補正

率は一〇%以上である。今年もすでに補正率が九・四%となっているが、五十四年度の市民税の予算編成基準をどのように考えているのか。

②五十三年度の国庫支出金及び、都支出金の収入状況は予算額に對し、順調な収入となっているのか。

# 第5 臨時会

10/30  
(月)  
くもり

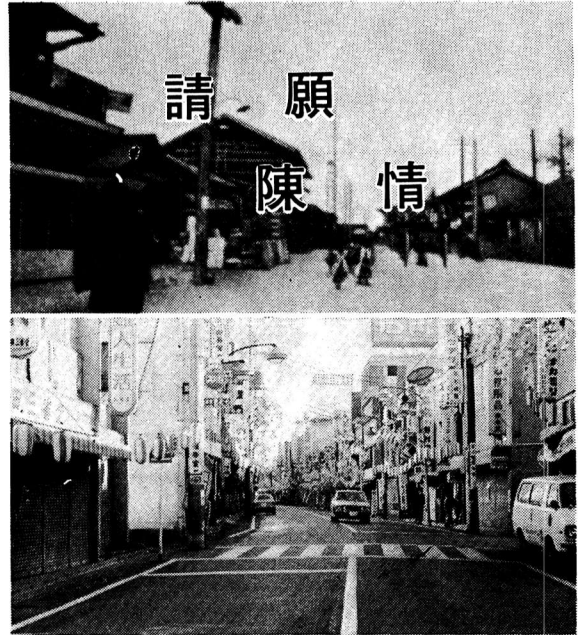
今年5回目の臨時会は10月30日(月)に開かれ、市長から提出された一般会計及び下水道会計の補正予算、条例の一部改正や工事契約が原案通り決まり、又住民から出された請願一件を不採択とし、臨時会を閉会しました。

一般会計では6,200万円を補正し総額79億4,900余万円となりました。主な事業としては多摩川の堤内地(川でない部分)に排水樋管を埋設したり、堤外地(川の部分)にブロックや蛇かごを埋設して河床を保護する工事です。

下水道会計では1億4,200余万円を補正し、総額14億7,300万円となりました。主な事業は公共下水道工事と五丁橋周辺から五日市線や青梅線等の横断工事の西地区周辺排水路工事です。

条例の一部改正は、熊川武蔵野会館という名称が隣接の武蔵野会館とまぎらわしいため福東会館に改めるというものです。

又継続審査となっていた「一般消費税の新設反対に関する請願書」は、討論の後、起立採決の結果、賛成少数で不採択と決まりました。



上 大正時代の福生駅西口商店街、下 現在の西口商店街

## 採 択

◇請願第四号 福生駅西口再開  
発に関する請願書  
本町一八

山下光一氏 他二九八人  
| 昭53・12・8 提出 |

◇請願第五号 五日市線熊川停留所整備に関する請願書  
熊川八一三

森田徳三氏 他一八八八人  
| 昭53・12・8 提出 |

◇請願第六号 五日市線熊川駅ホームの屋根設置に関する請願書  
南田園三十三一三一一〇八  
菊地清子氏 他三五四人  
| 昭53・12・8 提出 |

◇陳情第十号 「身体障害者に対する三多摩地区、私営乗物(バス)無料化」の実施に関する陳情書  
熊川九六六

吉田広助氏 他四五三人  
| 昭53・12・8 提出 |

◇請願第一号 韓国の自主的平和統一に関する請願書  
志茂一三四  
朴 載洙氏 他四人  
| 昭53・6・13 提出 |

◇請願第三号 国鉄貨物取扱い駅廃止反対に関する請願書  
立川市曙町二一一五  
石野 昇氏 他二人  
| 昭53・9・13 提出 |

◇陳情第六号 朝鮮の自主的平和統一運動支援に関する陳情書  
本町九八  
鄭 清正氏  
| 昭53・9・13 提出 |

## 不 採 択

◇請願第二号 一般消費税の新設反対に関する請願書  
牛浜九一  
西村理三郎氏 他二一五人  
| 昭53・9・13 提出 |

## 取 り 下 げ

◇陳情第八号 第三、第四都営住宅ダストボックス継続使用許可に関する陳情書  
熊川一三一五  
吉国 勝氏 他三七七人  
| 昭53・9・26 提出 |

## 継 続

◇請願第四号 自主課税による税負担の不公平是正と税制改革による減税に関する請願書  
立川市曙町二一一五  
石野 昇氏  
| 昭51・9・22 提出 |

◇陳情第九号 富士見台町会地区の塵芥収集に関する陳情書  
熊川一三一五  
安田孝彦氏 他一三人  
| 昭53・9・26 提出 |